

2024年度ポーアイ4大学連携単位互換科目概要

科 目 名	労働法
科 目 番 号	4
科目提供大学名	神戸学院大学
担 当 教 員	表田 充生
単 位 数	4 単位
受 入 定 員 数	30 名
開 講 学 期	春学期
評 価 方 法	定期試験（100％）で評価する。（原則として期末の定期試験を実施する。
教 科 書	安枝英紳・西村健一郎『労働法 [第 13 版]』（有斐閣、2021 年）、『デイリー六法』（三省堂）または『ポケット六法』（有斐閣）
参 考 書	大内伸哉『最新重要判例 200 労働法 [第 8 版]』（弘文堂、2024 年）。 その他の参考書等については講義中に適宜説明する。
授業以外の学習方法	各回の授業の主題（内容）に関連するテキストの該当箇所を事前に通読しておくこと。毎回の予習及び復習の時間の目安はそれぞれ 90 分～120 分である。
その他の特記事項	なお、期末の定期試験においては上記の六法のみ「持ち込み可」となるので予めお伝えしておく（ただし、書き込みのないものに限る）。
授 業 概 要	<p>労働法の領域には、雇用関係法（個別的労働関係法）と労使関係法（集団的労働関係法）という 2 つの主要な領域がある。いずれの分野も重要であるが、最近 20 数年間における労働立法の動向（労働契約法、パートタイム労働法や働き方改革関連法の成立、労働基準法および男女雇用機会均等法等の改正など）や、労働法を初めて学ぶ人にとっての必要性から、本講義は「個人としての労働者」に焦点をあてて前者に比重を置きながら展開する。</p> <p>労働基準法及び労働契約法を中心に、採用内定、労働契約の内容、配転・出向、懲戒処分及び解雇（リストラも含む）など、労働契約の成立から終了に至るまでの過程で生じる様々な法律問題を対象として検討する。社会人になる前に近い将来最も身近な法となる「労働法」の基礎知識を身に付けていただくことをねらいとしている。</p>

授業計画・内容

- 第1回 労働法の意義と学び方
- 第2回 労働契約の成立①
- 第3回 労働契約の成立②
- 第4回 労働契約の成立③
- 第5回 賃金・労働時間①
- 第6回 労働時間②
- 第7回 労働時間③
- 第8回 労働法と憲法
- 第9回 人事問題①
- 第10回 人事問題②
- 第11回 労働契約総論①
- 第12回 労働契約総論②
- 第13回 労働契約総論③
- 第14回 労働契約の終了①
- 第15回 労働契約の終了②
- 第16回 労働契約の終了③
- 第17回 非正規雇用の問題
- 第18回 「労働者」の概念
- 第19回 懲戒・服務規律
- 第20回 労働条件の変更①
- 第21回 労働条件の変更②
- 第22回 労働条件の変更③
- 第23回 職場における平等①
- 第24回 職場における平等②、労働災害①
- 第25回 労働災害②
- 第26回 労働組合
- 第27回 争議行為
- 第28回 組合活動
- 第29回 不当労働行為
- 第30回 団体交渉・労働法の今後の課題等